

# 九条の樹

東久留米「九条の会」ニュース 第26号

2010年3月発行・東久留米「九条の会」  
代表者 古田足日・連絡先 鈴木Tel 042-473-9489  
<http://members2.jcom.home.ne.jp/hgsk9jk/>



## 東久留米「九条の会」 4周年のつどい

「新しい政治状況と憲法」講  
師 渡辺治氏

### ●質問と回答

2009年10月18日の東久留米「九条の会」4周年のつどい当日、会場からたくさん質問をいただきましたが、時間の関係で回答ができず、後日、渡辺治氏より回答をお送りいただきました。



Q1  
小沢の左急カーブと、福田、小沢の大連合の関係はどう考えたらよいのでしょうか。

A1

講演でもお話ししましたが、小沢の左旋回の理由はただ一つ、選挙で勝つためでした。勝って民主党政権をつくるのが小沢の目標でした。小沢は、構造改革の矛盾が爆発していた状況で、選挙に勝つためには、反

構造改革に舵を切ることが必要と考えたのです。大連合も次の選挙で勝つて政権をとるための戦術で、小沢の中では一貫したものであったのです。

参院選に勝利した小沢は、しかし、このまま衆院選で自民党に勝つことはできないと考えた。そこで、大連立を仕掛けたのです。大連立を組んで、民主党の何人かに政権の経験を経ませ、次の次くらいで、選挙に勝つて政権を奪取する、というのが小沢の戦略でした。

衆院と参院の多数派が別れて法案成立に困難を抱えた福田政権も、大連立を志向していましたから、両者の思いは合致しました。問題は、参院選で、自民党を攻撃し、構造改革路線を叩いた民主党が選挙直後に自民党と連合するという、国民への背信を小沢が何とも思っていなかったことです。ところが、民主党幹部たちは全員、「そんなことをすれば、国民から総スキャンを食う」といって反対したのです。当然の反応です。小沢はこうした民主党幹部の対応を予測できなかった。みな自分についてくると思ったのです。それが小沢の代表辞任騒動を引き起こしたのであります。ここに小沢の弱点が露呈してい

ます。それは国民の声を信じない、選挙は利益誘導と組織で決まるといふ根深い、小沢の確信です。

Q2

3年後には企業献金を禁止する方針（実現可能か？）ですが、財界が民主に圧力をかける方策は献金以外に何か考えているのでしょうか。もともとは企業におされている党とみて良いのでしょうか。

A2

一番大きい圧力手段はオカネです。しかし、それだけではありません。財界団体の幹部を、審議会などに送り込む、様々な政府機関のメンバーに送り込むことも有力な政策圧力の方法です。また、選挙時における集票を通じての応援も、大きな力です。

民主党も、自民党と政権を競い合う保守政党であることは代わりがありません。ですから、たとえば、今回のマニフェストには「大企業」という言葉は一度も出てきませんし、これだけの財政の赤字に際して、財源問題では、大企業への負担増を考

えてもいません。

### Q3

**民主党の構造改革推進派の説  
明をもう少し詳しくしてください。**

### A3

もともと民主党は、自民党と構造改革を競い合う政党として出発しました。自民党と民主党の差異化は、自民党より急進的構造改革ができるというものでした。大都市部の大企業正社員従業員層に熱い支持基盤を持つ民主党は、地方の利益誘導政治を基盤にしている自民党に比べ、公共事業投資の削減をいいやすいからです。ですから民主党は「真の構造改革は民主党でこそできる」と訴えて、自民党との違いを際立たせてきたのです。

ところが、構造改革の矛盾が爆発する07年参院選で、民主党は大規模な政策転換をしました。構造改革の矛盾が爆発し自民党に対する不信が鬱積していたからです。しかし、そういう転換にかかわらず、民主党内の主流は、長期戦略では、あいかわらず新自由主義推進派が多数を占め

ています。執行部がなぜ構造改革推進路線をとらざるをえないかのくわしい説明は、岡田、二宮、後藤、渡辺著『新自由主義か、新福祉国家か』（旬報社）第1章で書きましたので、お読みください。

### Q4

**長妻氏に代表される民主党の手足と、改憲反対の共産、社民との関係は将来どう考えたらよいのでしょうか。**

### A4

当面は長妻氏らの「手足」は、党外の運動や社民党、国民新党、共産党などの力を借りないと、福祉の政策の一つも実現できません。ですから、当面は、共産、社民は、賛同できるところでは、長妻氏らを支援し、その福祉政策実現に圧力を加えるでしょう。

しかし、2010年の参院選が終われば、早晚、社民党、国民新党との共闘は見直されるでしょう。それは党執行部と小沢氏の決めることで、長妻氏らには発言権はありません。ですから、長期的には、この関係はなくなる公算が強いです。当

面は、手足と社民、共産党との連携がないと、福祉政策の一つも通りませんので、否応なく連携は進むでしょう。

### Q5

**公明党は7割のお風呂<sup>\*</sup>には含まれないとしたら、今後憲法に  
関してはどうなっていくと思われ  
れますか。**

### A5

公明党も保守二大政党制が安定すれば、存立の余地はなくなり、早晚存続を問われます。公明党にとって一番よいのは、保守の二大政党がいずれも過半数をとれず、政権をとるには公明党と組むしかない状況がつけられることです。それには、比例定数が今以上に減るのはなんとして避けねばなりません。ですから、公明党は、衆、参どちらかで過半数がとれない状況になったときには、民主党とでも自民党とでも喜んで連立を組むでしょう。

2010年参院選のあと、民主党が過半数をえられなかった場合、公明党は、民主党とくっついて、政権に入ると思います。自民党が盛り返

した場合には、公明党は、自分をより高く売れる党に行くでしょう。いずれにしても公明党は政権入りを目指し、そこで、衆院比例定数の80削減などに反対すると思います。ただし憲法改正については、公明党は、政権に入れば、反対はしないと思いません。

### \*7割のお風呂

自民党と民主党の得票の推移を見ると、2003年以来両党の得票の合計は約7割ぐらいです。これはどういうことか。前回自民に入れた人が今回は民主に入れた。共産や社民に入れていないんです。今の民主がへまをすればまた自民に戻るかもしれない。渡辺氏はこれを自民と民主の7割のお風呂と言っています。

### Q6

**長い間、第一野党、第二政党  
であった社民党(旧社会党)には、  
もっと厳しい目で見えるべきでは  
ないでしょうか。**

### A6

社民党の最大の誤りは、94年に連立政権を組み、その際、自衛隊容認、安保容認に転換したこと。それまで、最大野党であった社会党が、自衛隊違憲、改憲反対の立場をとってきたことが、日本が軍事大国にな

らなかつた大きな理由です。ですから、いろいろな問題はありますが、私はその点で社会党の意義を評価しています。憲法9条が変わらなかつたことによる、意義についてはくわしくは、私の『憲法9条と25条』（かもがわ出版）をお読みください。

94年の転換後、社会党は二つに分裂し、その片割れは民主党に、片割れが現在の社民党になりました。社民党が小さくなった最大の理由は、それまで社会党の集票基盤であった労働組合、とりわけ公共部門労働組合が、民主党支持に転じたこと、社会党のもう一つの支持基盤であった市民運動が社会党の転向に愛想を尽かせて支持を止めたことです。それに、社会党も賛成した小選挙区中心の選挙制度も、社民党の衰亡の要因となりました。現在では社民党は党内に民主党との合併派と独立派を抱え、政党としての体をなしていません。ですから、今回の連立政権合意も、その割に頑張ったという気がします。「頑張った」理由は、94年の失敗に対する反省があるのではないのでしょうか。

いろいろ欠陥はありますが、改憲に反対している点、構造改革に反対している点は、大事な点です。私は

その点で、社民党に頑張ってもらいたいと思っています。

Q7

自衛隊についてはどのような考えでしょうか、お聞かせください。

A7

私は、自衛隊は、米軍と共同し、アメリカの世界戦略に従属する軍隊であり、日本国憲法に違反する「戦力」であると考えています。しかし、この軍隊は、同時に憲法9条と私たちの運動の力で、世界ではまれな軍隊でもあります。講演でもお話ししたように、自衛隊はまだ人を殺したことがありません。海外に侵攻したこともありません。その意味では特殊な軍隊です。（くわしくは前掲『憲法9条と25条』参照）

しかしアメリカの圧力の下で、自衛隊は改憲によって米軍との共同作戦を組む軍隊に脱皮しようとしています。ですから、私は改憲による自衛隊の戦争する軍隊化に反対するとともに、東アジアの安全保障を構築する中で、自衛隊を9条に違反しない組織に縮小していくことが必要で

あると考えます。



Q8

インド洋給油の問題について、70%がパキスタン軍への給油だと言われていますが、給油問題とパキスタンの状況について詳しく知りたい。

A8

アメリカがアフガンから手を引けないのは、手を引いたとたんに、アフガニスタンが再び、タリバンの手に戻り、タリバン政権ができる可能性が強いこと、そうになると、パキスタンもタリバン政権ができる可能性が強いこと、そうになると、パキスタンは保有している核がタリバンからアルカイダの手に渡ること、こうした図式を恐れているからです。インド洋での自衛隊の給油は、アメリカ軍と多国籍軍が共同して、インド洋での「テロリスト」の活動つまりタリバンへのアルカイダなど

の手による補給や兵士の供給活動を阻止し、同時にアフガニスタンのタリバン勢力を攻撃する活動を支援する目的で行われています。要するに、アメリカ軍を中心とした多国籍軍によるタリバン攻撃を支援するものです。

ちょうど戦前の日本軍の中国侵略、60年代アメリカのベトナム侵略と類似の状況に、アメリカはいます。増派しても勝利の展望はないが、引くと、アフガニスタンとパキスタンが、タリバン政権になってしまうので、それは阻止しなければならぬ、というわけです。

私は、米軍は、手を引くべきだと思います。そしてタリバンも含めた、交渉のテーブルを作り、核問題も含めた、包括的な政治解決を図るしか手はないと思います。

Q9

若者たちを九条の会にもっと参加してもらおうためのどんな知恵と努力がいるのでしょうか。私は83歳、ガン治療中です。それでもできることを模索しています。



A 9

私たちも工夫していますが、特効薬はありません。若者たち自身が、自分たちの問題として、平和と憲法の問題を考え、立ち上がることが重要で、私たちはあくまで、その手助けができるにすぎません。

その上で、手助けできることの一つは、自分の息子、娘、孫たちと日本のこれから、アジアのこれからについて話すこと、改めて戦争の体験を話して、伝えることです。北朝鮮の核問題、拉致問題、中国の問題をきっかけに話しをすることが大切です。9条の会で、呼びかけて、やってもよいでしょう。まず自分の孫たちを連れてくる会をやってみることもできるかもしれません。

東久留米市にある、あるいは近くにある高校や大学での学園祭などに、その学校の生徒や学生を通じて、共同で憲法や戦争に対する企画をもつこともできそうです。すでに、東久留米9条の会に参加している若者たちとまずトーク集会をしてみたらいかがでしょうか。

それから、今の若者たちの一番の関心は、仕事、雇用です。ですから、9条だけでなく、25条を実現する社会という点から憲法のことを考える

企画も大切ではないでしょうか。雨宮処凛さんは、25条から憲法に関心をもち、9条についても捉え直しをされています。

Q 10

自治体の首長は東久留米市でもなかなか変わらない。どのよう運動が必要でしょうか。

A 10

これもその地域、地域の取り組みが大切です。

一般的には、構造改革の政治を変えるために、政党や労働組合が広く共同すること

・さらに、労働組合や政党に参加しない市民層を市を変えるための運動で結集すること

・東久留米のまちを福祉のまちに変えるための財源も含めた、対抗的政策を民主的に作成すること

などが大切ですが、地域を変える経験は東京でもたくさんありますから、そうした経験を学ぶことも大切です。国立市長だった上原公子さんや、現職の狛江市長さんなどを呼んで話を聞くこともいいかもしれません。

\*2010年1月、市長がわかりました。



Q 11

これまで、これはユニークだと思われた運動には具体的にどのようなものがありましたか。

A 11

いろいろなことがあります。ちよつとここで答えするには大変です。またの機会にさせてください。

9条の会については、3回の全国交流集会の記録があり、ここにはたくさんユニークな取り組みがのっています。それをお買い求めください。

また、今年は、各地域でブロック別に交流集会をして、取り組みを交流しています。関東ブロックの交流集会も、2010年4月に予定されています。是非そうした催しに参加してください。

歴史的に、憲法を守るためにどんな運動が行われてきたかについては、私の『憲法9条と25条』をお読みいただければと思います。

◆お知らせ

### 西部九条の会 春の遠足 ～多摩の戦跡めぐり～

日時：4月4日(日) 午前9時集合  
集合場所：西部地域センター前  
参加費：400円(保険代込)

申し込み締め切り：3月28日(日)  
お問い合わせ・申し込みは「西部九条の会」  
475-9359(大野)・478-3266(大山)まで  
☆東大和市の「旧日立航空機立川工場変電所」  
ほか多摩地域に残る戦跡を訪ねます。  
どなたでも参加自由です。

### 東久留米「九条の会」 5周年のつどい

日時：9月25日(土) 午後2時開会  
場所：東久留米中央公民館ホール  
(4月から生涯学習センター)

講師：品川正治さん  
(経済同友会の終身幹事、  
財団法人国際開発センター会長)

イベント：平和朗読劇 演出：楯岡さん